

[First Hit](#) [Previous Doc](#) [Next Doc](#) [Go to Doc#](#)

End of Result Set

☐ [Generate Collection](#) [Print](#)

L1: Entry 1 of 1

File: JPAB

Feb 12, 1988

PUB-NO: JP363033088A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 63033088 A

TITLE: TELEVISION CAMERA SYSTEM WITH PRIVACY PROTECTING FUNCTION

PUBN-DATE: February 12, 1988

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

HORII, TAKASHI

YASUDA, AKIRA

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

MATSUSHITA ELECTRIC WORKS LTD

APPL-NO: JP61176990

APPL-DATE: July 28, 1986

US-CL-CURRENT: 348/143

INT-CL (IPC): H04N 7/18; G08B 13/00

ABSTRACT:

PURPOSE: To prevent an inconvenience such as that a person to be photographed is photographed while unknowing from being produced by providing an output part for outputting a caution signal indicating a monitoring in a monitor part in a television camera.

CONSTITUTION: Between the monitor part M and the television cameras C1, C2, ..., Cn a video signal line 4 and a camera select signal line 3 are disposed. In the respective television cameras C1, C2, ... cn, a camera select signal detection part 7 is disposed and the camera select signal transmitted from the monitor part M through the camera select signal line 3 is detected. When the camera select signal is detected, the photographing signal of the television camera is monitored at present, so that the output control part 8 of light or a sound is activated and the caution signal by the light or the sound is outputted from an output part 1 consisting of a lamp or a speaker or the like.

COPYRIGHT: (C) 1988, JPO&Japio

[Previous Doc](#) [Next Doc](#) [Go to Doc#](#)

⑫ 公開特許公報(A) 昭63-33088

⑮ Int. Cl.⁴

識別記号

庁内整理番号

⑬ 公開 昭和63年(1988)2月12日

H 04 N 7/18
G 08 B 13/00D-7245-5C
8725-5C

審査請求 未請求 発明の数 1 (全4頁)

⑭ 発明の名称 プライバシー保護機能付テレビカメラシステム

⑯ 特 願 昭61-176990

⑰ 出 願 昭61(1986)7月28日

⑱ 発 明 者 堀 井 貴 司 大阪府門真市大字門真1048番地 松下電工株式会社内
⑱ 発 明 者 安 田 晃 大阪府門真市大字門真1048番地 松下電工株式会社内
⑲ 出 願 人 松下電工株式会社 大阪府門真市大字門真1048番地
⑳ 代 理 人 弁理士 倉田 政彦

明 細 書

1. 発明の名称

プライバシー保護機能付テレビカメラシステム

2. 特許請求の範囲

(1) 1台以上のテレビカメラと、テレビカメラにより撮影された画像をモニターするモニター部とを含むテレビカメラシステムにおいて、テレビカメラにはモニター部にてモニター中であることを示す注意信号を出力する出力部を設け、モニター部にはモニター中のテレビカメラにおける出力部を動作させるための信号を発生する信号発生部を設け、モニター部の信号発生部にて発生した信号をテレビカメラの出力部に伝送する信号伝送手段をテレビカメラとモニター部との間に設けて成ることを特徴とするプライバシー保護機能付テレビカメラシステム。

3. 発明の詳細な説明

(技術分野)

本発明は、テレビカメラを用いた防犯・防災用の監視装置などに用いられるプライバシー保護機

能付テレビカメラシステムに関するものである。

(背景技術)

従来、防犯用又は防災用の監視装置として、テレビカメラにより被監視領域を撮影し、モニター部にて監視できるようにしたシステムが提案されている。このようなテレビカメラシステムにおいては、被撮影者の側からテレビカメラを見ても現在撮影中またはモニター中であるかどうかを判別できる機能は具備されていなかった。このため、個室等の場所でも防犯上・防災上等の理由で監視用テレビカメラを設置する必要が生じた場合には、プライバシー侵害の問題が発生するおそれがあった。

(発明の目的)

本発明は上述のような点に鑑みてなされたものであり、その目的とするところは、被撮影者に対して現在モニターされていることを光や音を用いて知らせることによりプライバシーの侵害を防止できるようにしたプライバシー侵害防止機能付テレビカメラシステムを提供するにある。

(発明の開示)

本発明に係るプライバシー侵害防止機能付テレビカメラシステムにあっては、第1図及び第2図に示すように、1台以上のテレビカメラ C_1, C_2, \dots, C_n と、テレビカメラ C_1, C_2, \dots, C_n により撮影された画像をモニターするモニター部Mとを含むテレビカメラシステムにおいて、テレビカメラ C_1, C_2, \dots, C_n にはモニター部Mにてモニター中であることを示す注意信号を出力する出力部1を設け、モニター部Mにはモニター中のテレビカメラ C_1, C_2, \dots, C_n における出力部1を動作させるための信号を発生する信号発生部2を設け、モニター部Mの信号発生部2にて発生した信号をテレビカメラ C_1, C_2, \dots, C_n の出力部1に伝送する信号線3のような信号伝送手段をテレビカメラ C_1, C_2, \dots, C_n とモニター部Mとの間に設けて成るものである。

本発明にあっては、このように、モニター部Mにてモニター中であることを示す注意信号を出力する出力部1をテレビカメラ C_1, C_2, \dots, C_n に設け、モニター部Mには、複数台のテレビカメラ C_1, C_2, \dots, C_n のうち、いずれか1台を選択するためのカメラセレクト回路5が設けられている。各テレビカメラ C_1, C_2, \dots, C_n からのビデオ信号線4は、カメラセレクト回路5のスイッチ S_1 によりいずれか1つが選択されて、モニター用のCRT6に接続される。このCRT6に代えてVTRを接続しても構わない。モニター部Mには、カメラセレクト信号発生部2が設けられており、カメラセレクト信号を出力している。カメラセレクト信号発生部2から出力されたカメラセレクト信号は、カメラセレクト回路5のスイッチ S_2 を介して、複数台のテレビカメラ C_1, C_2, \dots, C_n のうちの1台のカメラセレクト信号線3に出力される。カメラセレクト回路5のスイッチ S_1 とスイッチ S_2 とは連動しており、スイッチ S_1 を介してCRT6にビデオ信号線4が接続されたテレビカメラに対応するカメラセレクト信号線3に、カメラセレクト信号が出力される。

一方、各テレビカメラ C_1, C_2, \dots, C_n には、カ

メ、モニター部Mにてモニター中である場合には、モニター部Mの信号発生部2から信号線3のような信号伝送手段を介してテレビカメラ C_1, C_2, \dots, C_n に送られる信号にて、前記出力部1から注意信号を出力させるようにしている。モニター部Mにてモニター中である場合には、テレビカメラの側から注意信号が発せられるものであり、したがって、被撮影者が知らない間に撮影されていたというような不都合は生じないものである。

以下、本発明の実施例について説明する。

実施例1

第1図は本発明の一実施例のブロック図である。本実施例にあっては、複数台のテレビカメラ C_1, C_2, \dots, C_n を、1台のモニター部Mにて切り換えながらモニターしている。モニター部Mと、テレビカメラ C_1, C_2, \dots, C_n との間には、ビデオ信号線4と、カメラセレクト信号線3とが配線されている。ビデオ信号線4には映像信号と同期信号とが伝送されており、カメラセレクト信号線3にはカメラセレクト信号が伝送されている。モニター部Mには、カメラセレクト信号検出部7が設けられており、カメラセレクト信号線3を介してモニター部Mから伝送されたカメラセレクト信号を検出する。カメラセレクト信号が検出されたときには、現在、そのテレビカメラの撮影信号がモニターされていることになるので、光又は音の出力制御部8を起動し、ランプやスピーカ等よりなる出力部1から光又は音による注意信号を出力するようになっている。

このように、本実施例にあっては、テレビカメラによる撮影信号がモニター部Mにてモニターされているときには、そのテレビカメラの出力部1から光又は音による注意信号が発せられるものであり、被撮影者が知らない間にモニターされるような不都合は生じないものである。したがって、防犯用又は防災用の監視装置において、個室内に監視用のテレビカメラを設置する必要が生じた場合においてもプライバシー侵害の問題は生じないものである。

なお、出力部1から発せられる注意信号として

は、テレビカメラの設置される場所や用途等に応じて、ランプやLED等による光の点灯又は点滅を用いて報知するものや、ブザー、ベル、チャイム等の音によって報知するもの、或いは、音声合成用の制御部を具備し、音声合成によって報知するものなどを適宜選択して用いることができる。

また、本実施例にあっては、カメラセレクト信号線3とビデオ信号線4とは、それぞれ別の信号線を用いたが、同一の信号線を時分割的に用いても良く、例えばモニター部Mから各テレビカメラC₁, C₂, …, C_nに送られる外部同期信号と共にカメラセレクト信号を伝送するようにしても構わない。

実施例2

第2図(a)(b)は本発明の他の実施例の要部構成を示す斜視図である。本実施例にあっては、テレビカメラC_iの撮影レンズ9にレンズカバー10を設け、このレンズカバー10の機械的な開閉動作によって、テレビカメラC_iがモニター中であるか否かを報知するようになっている。このよう

に構成すれば、第2図(b)に示すように、レンズカバー10が開いているときには、テレビカメラC_iによるモニターが可能であるが、第2図(a)に示すように、レンズカバー10が閉じているときはテレビカメラC_iによるモニターを行うことはできないから、被撮影者は自己がモニターされていないことを明確に知ることができるというメリットがある。したがって、本実施例の構成を用いれば、モニター中であるにも拘わらず、表示ランプの断線等によって表示が行なわれていなかったというような不都合が生じることはない。

なお、レンズカバー10に代えてテレビカメラC_iの全体にカバーを掛けて、このカバーを開閉するようにしても構わない。また、実施例2のレンズカバー10と実施例1の表示ランプや表示ブザー等とを併用しても良い。

(発明の効果)

以上のように本発明にあっては、モニター部にてモニター中であることを示す注意信号を出力する出力部をテレビカメラに設け、モニター部にて

モニター中である場合には、モニター部の信号発生部から信号伝送手段を介してテレビカメラに送られる信号にて、前記出力部から注意信号を出力させるようにしているので、モニター部にてモニター中である場合には、テレビカメラの側から注意信号が発せられるものであり、したがって、被撮影者が知らない間に撮影されていたというような不都合が生じることを防止できるという効果がある。

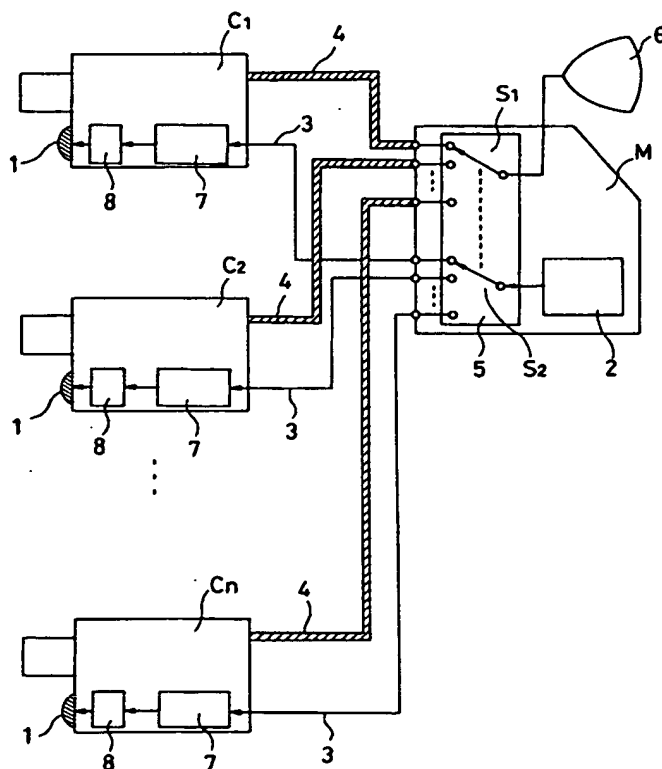
4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明の一実施例のブロック図、第2図(a)(b)は本発明の他の実施例の要部構成を示す斜視図である。

C₁, C₂, …, C_nはテレビカメラ、Mはモニター部、1は出力部、2は信号発生部、3はカメラセレクト信号線である。

代理人 弁理士 倉田政彦

第1図



第 2 図

